

七ヶ宿町 七ヶ宿町立七ヶ宿中学校(総合的な学習の時間)「地域交流活動」

○市町名 七ヶ宿町

○学校名 七ヶ宿町立七ヶ宿中学校

○期 日 令和6年10月25日(金)

○内 容

総合的な学習の時間(第3学年)

「地域交流活動」

- ・これまでの学習のまとめとして、町の方との交流で得た学びを生かし、生徒自身が考える町の課題の解決に役立つ活動を計画し、七ヶ宿を思い続ける心や七ヶ宿の地域づくりに参画し続けようとする意識を高めさせる。

○講 師

七ヶ宿まちづくり株式会社

地域交流課 課長 成田 知将 氏

株式会社ユズファームワイナリー

代表取締役兼栽培醸造責任者 荒井 謙 氏

七ヶ宿町関保育所 所長 黒澤 千春 氏

シルバー人材センター 新山 秀夫 氏

○指導補助

吉村 さだゑ 氏(わらじ作り)

○生徒の声

- ・特にメニュー開発が難しく「売れるもの」を作るのは、簡単ではないということが身に染みて感じました。更に原価計算では、様々なことが考えられて1つの商品が作られており、とてもやりがいのある仕事だと思いました。今回、体験したことは将来必ず役に立つと思うので、社会に出たときには思い出して活動していきたいです。(こ・らっしえでの活動)



- ・たくさんの子供と遊んだり、話したりしてとても楽しかったです。また、担当の先生の注意の仕方がとても上手で、子供たちは先生の話をよく聞いていたのが印象的でした。私は将来保育士になりたいので、先生のようにしっかりと注意ができて、好かれる先生になりたいと思いました。地域貢献できたかは不安ですが、とても良い経験をさせていただきました。(関保育所での活動)



- ・初めての果物の収穫は大変だとは思っていましたが、広大な敷地を3人で収穫から販売、ジュースへの加工まで手掛けており、それに驚きました。荒井さんは、ぶどう一つ一つに最高の品質を求めている、ぶどう栽培やワインづくりに対して、とても情熱をもって取り組んでいらっしゃるのだと思いました。(ユズファームワイナリーでの活動)

- ・わらじ作りはとても難しいことが分かりました。昔の人は、自分のわらじを自分で作っていたという話を聞いたときにはとても大変だと思いました。講師の方に分かりやすく教えてもらったので、何度も練習すれば自分でも上手に作れるようになると思いました。今回の活動では、2回しか教わるができなかったの



で、冬のわらじ講習会に参加して、一人でも作れるようになりたいです。

(わらじ作り活動)

- ・今回の活動では、成田さんから「や・すまっしえを利用しているお客様にアンケートをとる」という案をいただき、「や・すまっしえの満足度



や七ヶ宿町の認知度を測る」ということを主目的として活動しました。活動の中で、お客様にアンケートをとっていた際に私が声をかけられなかった方に、アンケートの協力を呼びかけていただく場面があり、助けていただきました。おかげさまで、目標以上の回答数を集めることができ、アンケート結果を充実させることができました。今後は集計結果を分析し、七ヶ宿町を知ってもらえるためにどのように発信していくべきなのかを考えたいです。また、七ヶ宿町に還元するために自分にできることは何かを考え、取り組んでいきたいです。

(や・すまっしえでの活動)

○講師から

- ・この学習は、自分たちの職場や仕事を知ってもらうと同時に、中学生を知ることだと感じました。今の中学生がどういう取組をしている、どういうことを考えているのか知ること、は、“地域の大人”として、これからどう学校と関わるかを考えるきっかけになりました。特に弊社は“まちづくり”をする会社なので、地域との協働は不可欠です。しかし、学校と接する機会は少ないので、よいきっかけでした。これからも継続して関わることでお互いに経験を高め、より良いことにチャレンジしていきたいです。ゆくゆくは、この取組をした学生が大人になった後、“地域の人”として関わってくれることを期待しています。

(七ヶ宿まちづくり株式会社:成田 知将 氏)

- ・予想以上に一生懸命取り組んでくれました。今年から、町内外の高校生との交流もあったなか、地元の子供ということもあり、気持ち

が入った状態でやってくれているのを感じました。実際に畑を歩いて広さを感じたり、採れたての果物を食べて買ったものの違いを感じたり、こういう機会は貴重だと思います。今回のように地元の若い子にも知ってもらい、将来的にその子の中に残ってくれればと思いました。

(株式会社ユズファームワイナリー:荒井 謙 氏)

- ・中学生が来てくれて、園児たちも喜んでいました。短時間でしたが、やれることを見つけて積極的に動いてくれました。将来の進路選択のお役に立てたなら良かったと思います。

(七ヶ宿町関保育所:黒澤 千春 氏)

- ・わらじ作りを覚えようと生徒が来てくれて嬉しかったです。回を重ねるごとに上手になっていきました。今後開催するわらじづくり講習会にも来てくれるのを期待しています。昔はわらじの作り手がたくさんいましたが、今では少なくなって寂しいものです。地元の子供がやろうとしてくれるのは嬉しいことです。もっと誰でも来てくれると良いなと思います。

(わらじ作り:吉村 さだ彦 氏)

○教職員の声

1年生からの学習を踏まえ、今回の地域交流活動を行いました。企画書の作成から始まり、このプロジェクトを通して、自分や協力者の方、そして町にとって良いことは何かを考え、プロジェクトのゴールを定めました。5つの事業者様にご協力をいただき、実際に収穫や製作、アンケートの実施など、自分たちが考えた課題解決法を实践させていただきました。受け継がれてきた歴史、商品づくりに対する思いや苦労なども教えていただくことで、生徒は地域の特色や町の人の温かさを感じることができました。今回の活動を通して、生徒自身が町のためにできることは何かを考え、今後も町を思い続けることや社会に参画していこうとする意識を高めることができました。今回の活動が充実できたのは、ご協力いただいた方々の様々なご支援の賜物です。本当にありがとうございました。